

Zoom Up

中心市街地の浸水被害を軽減

雨水貯留管の整備が完了

台風や集中豪雨などによる本厚木駅周辺の浸水被害を軽減するために進めてきた、厚木中央公園を起点とした雨水貯留管が3月に完成しました。今後は厚木郵便局前交差点付近の浸水対策も実施し、安心して暮らせる水害に強いまちづくりを進めていきます。

近年、全国各地で台風や集中豪雨が多く発生しています。市内では、2013年の局地的集中豪雨で1時間に65mmの降雨量を観測。本厚木駅周辺では深さ50cm程度の浸水が発生し、多くの被害が出ました。市は、市街地の浸水被害を軽減するため、19年にあさひ公園の地下に小学校のプール40杯分の雨水がためられる貯留施設を整備。さらに、19年12月から雨水貯留管の整備工事を始め、今年3月に完成しました。

プール約14杯分の貯留が可能に

完成した貯留管は、地下約8mの位置に埋設。延長は、厚木中央公園西側から保健福祉センター付近までの約1.1kmに及びます（左図参照）。大雨の際、下水管の水位が高くなると、一度貯留管に雨水を取り込み、後日、ポンプで下水管に戻して処理する仕組みです。小学校のプール約14杯分の雨水がためられ、13年に被害が起きた降雨量でも浸水の深さを約10cm以下に抑えられる見込みです。



完成した雨水貯留管の内部



約70cmのシールドマシンで掘削

マシンを地下に搬入



完成している雨水貯留施設の位置図

本厚木駅周辺に住む山田葵さん(45・旭町)は「全国で集中豪雨などによる被害が多く、災害の不安を感じている。貯留施設の整備などの災害対策は心強く、今後も安心して暮らせるまちで

あつてほしい」と期待を込めます。

水害に強いまちづくり

市では現在、浸水による通行止めが13年以降に3度発生している厚木郵便局前交差点西側付近の対策工事を進めています。ポンプを利用して雨水を近くの恩曾川に排水できる雨水管を整備し、25年2月に完成予定です。

他にも、企業・管理組合などの浸水対策工事や、住宅などの止水板設置の費用を補助（下欄参照）。水害から身を守るよう、市が実施する貯留施設の整備と併せ対策を強化しています。これからの皆さんが安心して暮らせる災害に強いまちづくりを目指します。

☎下水道施設課 ☎25-2370

浸水被害を防ぐために

河川の氾濫や降雨による浸水被害を防ぐため、対策などの費用の一部を補助します。

- 企業などの対策費用 ☎危機管理課 ☎225-2190
 - 《対象》店舗、事務所、工場、集合住宅（マンション）、テナントビルなど
 - 《補助額》対象経費の3分の1（上限3000万円）
 - 《補助条件》災害時に避難施設として提供する協定の締結
 - ☑市HPにある申請書を直接、危機管理課へ。審査あり。
- 止水板の設置費用 ☎下水道総務課 ☎225-2362
 - 《対象》住宅、集合住宅（マンション）、店舗、事務所などへの設置・購入費用
 - 《補助額》対象経費の2分の1（上限50万円）
 - ☑工事などの着手前に申請書と必要書類を下水道総務課へ。審査あり。条件などの詳細は市HPに掲載。

自宅でできる備え

被害を減らすには日頃の備えが大切です。

- 事前に行動などを確認
 - オールハザードマップで災害リスクを認識し、家族との連絡方法や集合場所、避難経路などを事前に確認。
- 自宅や周辺の点検
 - 雨どいや側溝の詰まりがないか確認し、清掃。



いつでもどこでも簡単納付

市税などを支払える電子マネーが増えました

納付書のバーコードをスマートフォンで読み取り、市税などが支払えるサービスです。4月から新たに「FamiPay」「楽天ペイ」を追加しました。 ☎収納課 ☎225-2020



■利用できる電子マネー

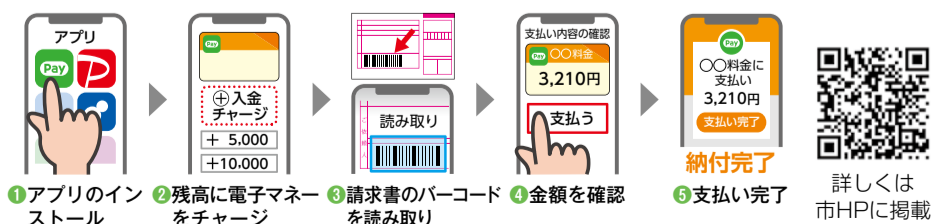
LINE Pay、Pay Pay、au PAY、d払い、J-Coin、FamiPay、楽天ペイ、PayB（ゆうちょPayを含む）の請求書払い

■支払える税金など

市・県民税（普通徴収）、固定資産税・都市計画税（土地・家屋）、固定資産税（償却資産）、軽自動車税（種別割）、国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料、学校給食費

《使用不可》①30万円以上の支払い（FamiPayは支払い上限10万円）
②市役所や金融機関、コンビニエンスストアなどの窓口支払い

■支払い方法



詳しくは市HPに掲載